



のむらしずえ  
**野村志津江**  
公明党  
(45分)



**精神に障がいのある方への支援は**

**問** 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築への認識と取り組みは。

**答** 退院後に、通院しながら地域での生活にスムーズに移行できるように、助け合い支え合う仕組みは重要である。このため、医療機関や行政、家族会、相談支援センターなどで構成される福山・府中地域精神障害者地域生活支援推進協議会において、住居の確保や在宅サービスの紹介等の支援を行うなど、課題の解決に向けて取り組む。

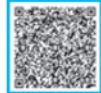
**広島県立高等学校の  
入学者選抜制度は**

**問** 令和5年度からの変更内容は。

**答** 主に、育てたい生徒像や受け入れ方針および選抜の実施内容などの事前公表、調査書の簡素化、入学者選抜に係る期間の短縮、自己表現の実施の4点である。



こばやしあきお  
**小林聡勇**  
公明党  
(45分)



**世界バラ会議福山大会の開催は**

**問** 大会を通して、市民が本市を訪れる人と交流し、心に残る思い出や誇りになるとともに、ローズマインドがさらに広がるきっかけにしていきたい。市長の考えは。

**答** 2025年にはMICEの受け入れ環境が整う。市民が育てたばらが咲き誇るまちに世界中からお客様を迎え、来られた方も福山のばらの魅力を世界に発信してくれるような、一体感のある大会にしたいと考えている。

本大会への参加者を、思いやりや優しさ、助け合いの心で迎え、平和の尊さを分かち合うことができるよう、多くの市民にボランティアなどとして関わっていただく機会をつくっていきたくと考えている。  
子どもから大人まで、市民一人一人が主役として大会を成功に導き、ローズマインドを広げる機会にもしていく。



第20回  
世界バラ会議  
福山大会  
2025



いくたまさせよ  
**生田政代**  
公明党  
(45分)



**子宮頸がんの発症予防を  
目的としたHPVワクチンは**

**問** 厚生労働省の通知に基づき積極的勧奨を差し控えていたが、接種による有効性が副反応のリスクを上回ると認められ、2022年4月から勧奨を再開した。①積極的勧奨を差し控えていた期間に定期接種の年齢を過ぎた女性に対しても再度接種機会を設けるキャッチアップ制度も開始されているが、本市の対応は。②より高い感染予防効果があるとされる9価HPVワクチンの定期接種化に伴う対象者への周知は。

**答** ①16歳から25歳の女性でワクチン3回接種が完了していない約1万6千人に対し、個別通知等で勧奨している。接種方法等の相談が寄せられている一方で、副反応を心配する声もある。今後も啓発に努める。②ホームページやSNSなどを活用した周知を図ることとしている。



HPVワクチンのリーフレット

※MICE：Meeting（ミーティング）、Incentive（報奨旅行）、Convention（会議）、Exhibition／Event（展示会／イベント）といったビジネスイベントの総称